

1 専任教員の教育・研究業績

所属	心理こども学科	職名	専任講師	氏名	森 晴美	大学院における研究指導担当資格の有無	(無)
I 教育活動							
教育実践上の主な業績		年月日	概 要				
1 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）							
1) 視聴覚教材の活用（保育内容の研究「言葉」、教職概論他）		2015年4月～現在	テキスト内容をパワーポイントでイラスト表示を加えながらわかりやすく解説したり、乳幼児の発達の特徴や他者とのかかわりの様子についてはDVDを活用したりした。また、子ども関連記事についてバズセッションを行い発表を通して考察を深めたり多様な考えを受け止め合う機会をもつようにした。				
2) ギャラリートークの導入（造形表現・図画工作・図画工作指導法）		2015年4月～現在	乳幼児や児童の作品を鑑賞し、完成するまでの経過をたどり内面を見とる力を養うことを目的として重視した。個人やグループで作品から感じた事を素直に表現し合い作品を多方面から受け止め、指導配慮や指導助言に生かすようにした。また学生の作品をアートカード化して授業で使用し鑑賞能力を高め言語活動を活発にするようにした。				
3) 教材制作を通じた保育実習・教育実習との連携		2015年4月～現在	教育実習で活用・応用できる教材を制作した。学生が各テーマに関連した絵本を披露したり、紙皿シアターによる発表会をしたりした。絵本リストや紙皿シアターの演目に関する一覧表を作成し部分実習の教材集として活用できるようにした。				
4) 教材制作を通じた地域子育て支援活動との連携		2016年4月～現在	図画工作、造形表現科目では子どもたちが喜ぶ手作り遊具を制作し灘区の子育て支援関連イベントで実際に使用した。また学内の子育て支援活動でも活用してもらい、担当教員より評価や助言を得て学修にさらに意欲をもつことができた。				
5) 保育教職希望4年次生への防災・減災教育		2016年7月	様々な災害に対する防災・減災の視点を持ち、保育教育現場で知識や経験を少しでも生かすことができるよう「人と防災未来センター」を見学したり語り部の方々から直接阪神淡路大震災の体験を聞き取る学びを行った。				
6) 保育教職希望4年次生への小児救命救急講座		2016年8月	着任後すぐに多様なニーズのある乳幼児にかかわり対応することが増えていることから、小児に特化した救命救急講座を神戸市消防局の協力を得て行った。				
7) 採用試験対策講座、内定者セミナーの実施		2016年4月～現在	公立保育所・幼稚園の専門教養試験対策、実技試験対策、内定後の準備や免許更新制の説明などを含めたセミナーを保育教職センター委員とともに実施した。				
8) 部活動におけるボランティア活動の推進		2015年4月～現在	社会福祉施設・児童福祉施設・幼稚園でのボランティア活動（フラ・ボランティア）を推進し、様々な人と交流しながら表現力の向上に努めたりフラを通じた地域貢献の在り方について学生とともに学びを進めたりして活動の幅を広めている。				

2	作成した教科書、教材、参考書	2014年11月 2016年3月 2017年1月	「幼稚園教育実習の手引き」 「幼稚園教諭・保育士 就職活動の手引き」(共著) 「幼稚園教諭・保育士 採用試験問題集」(共著)			
3	教育方法・教育実践に関する発表、講演等 1) フラを通じた異文化体験プログラム	2015年9月	神戸市立淡河好徳幼稚園とパンダこうとく保育園の交流会において、フラ披露とともにフラを通じた異文化への親しみを培うプログラムを実施した。乳幼児が楽しく異文化体験できるよう教材を加え、運動だけではなく音楽リズムや身体表現の面からも参加できるように工夫した。			
4	その他教育活動上特記すべき事項 1) 聖母被昇天学院高等学校 出張授業 2) 好文学園女子高等学校 出張授業 3) 全国学生フラ・フェスティバル(ふるさと・きずな維持・再生支援事業 NPO法人フラガールズ甲子園 後援/福島県、いわき市、東日本国際大学、いわき明星大学、福島民報、福島民友、いわき民報、いわきハワイ交流協会、いわき市文化協会)での慰問活動	2015年10月 2016年9月 2016年及び2017年2月	聖母被昇天学院高等学校において「保育者としていま求められていること」をテーマに出張授業を行った。 1年生のキャリア科目において、「大学生活とその学び(文系)」について学生2名とともに出張授業を行い、専門教養を学ぶ楽しさや実際の現場で力を試すこと、海外での研修成果等について解説し大学生活に将来の夢や期待を寄せることができるようにした。 福島県いわき市内の幼稚園や保育園での慰問活動において、異文化としてフラを表現するときの配慮事項を指導し、被災地の子どもたちや職員の希望を伝えながら連携を保ち支援の目的が果たせるように顧問として援助している。			
II 研究活動						
	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
	著書					
	論文					
	互恵性のある未就園児保育の実践	単著	2014. 3	幼年児童教育研究第26号		1頁-11頁
	子どもと親の育ちを支える幼稚園教師の援助ー子育て支援活動を通してー	単著	2016. 3	神戸海星女子学院大学研究紀要第54号		19頁-26頁

災害時に必要とされる教員や保育士の資質能力とは-熊本地震被災地での教員・保育士の取り組みを見つめて-	単著	2017.3	神戸海星女子学院大学研究紀要第55号		69頁-78頁
発表					
未就園児保育に関する研究-親子製作に着目して-	単著	2015.5第68回日本保育学会(相山女学園大学)	第68回日本保育学会大会要旨集		105頁
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
2011(平成23)年4月～現在	兵庫教育大学大学院幼年児童教育研究会会員				
2014(平成26)年1月～現在	日本保育学会会員				
2016(平成28)年4月～現在	日本乳幼児教育学会員				
2017(平成29)年2月～現在	日本保育者養成教育学会員				